

決算報告書

畜産勘定

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額	備 考
収入				
運営費交付金	592	592	-	
その他の政府交付金	57,100	57,100	-	
畜産振興事業拠出金	9,948	9,143	805	
調整資金より受入	42,244	2,239	40,005	業務経費等が見込より下回ったことによる減
諸収入	128,115	137,760	△ 9,645	
計	237,999	206,834	31,165	
支出				
業務経費	145,600	71,063	74,537	
畜産振興事業費	145,216	70,793	74,424	畜産業振興事業に対する補助事業費が見込より下回ったことによる減。なお、次年度への予算繰越額は16,657百万円(うち補助金16,655百万円、拠出金2百万円)
情報収集提供事業費	312	270	41	調査費用の節減を図ったことによる減
その他業務経費	72	-	72	指定食肉等の価格の動向から実施に至らなかったことによる減
肉用子牛勘定へ繰入	10,460	-	10,460	肉用子牛勘定において、業務経費等が見込みより下回ったことによる減
人件費	955	876	79	
一般管理費	221	207	14	次年度への予算繰越額は4百万円
計	157,235	72,146	85,089	

注1:表示金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

注2:畜産振興事業費の次年度への予算繰越額は、肉用牛肥育経営安定特別対策事業11,876百万円(うち補助金11,874百万円、拠出金2百万円)、酪農経営総合対策1,958百万円、肉用牛経営安定対策補完事業1,474百万円、養豚経営安定対策補完事業5百万円、畜産特別支援資金融通事業72百万円、家畜防疫互助基金支援事業383百万円、畜産副産物適正処分等推進事業757百万円、粗飼料確保緊急対策事業129百万円及びシステム開発に係る経費3百万円の合計です。

注3:一般管理費の次年度への予算繰越額は、システム開発等に係る経費です。